

# 施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

|      |      |   |               |          |       |
|------|------|---|---------------|----------|-------|
| 施策体系 | 政策   | 3 | 活力に満ちて暮らせるまち  | 担当部局(室)名 | 部局長名  |
|      | 基本施策 | 2 | いきいきと働けるまちづくり |          |       |
|      | 施策   | 1 | 雇用創出          | 産業部      | 内匠 勝也 |

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 成長が見込まれる分野において、企業による施設の拡張を奨励するとともに、空き用地、空き施設等への誘致を図り、雇用創出につなげます。また、中小規模の事業立ち上げ、新事業の育成等のための創業支援を行い、多様な就業機会の確保を図ります。
- 若者、女性、高齢者、障害者など多様な働き方を可能とする就業機会の確保を図り、生涯現役のまちづくりを推進します。

## 2. 令和3年度の取組内容及びその成果



名張市経済好循環推進協議会による事業展開で潜在的労働力活用プロジェクトとして、在宅ワークやハンドメイド作家育成の新しい働き方を提案するとともに、一旦現役を引退した高齢者層を労働力として活用するなどの事業を展開しました。当初目標(創業者を含め40名)を大幅に上回る179名(内、子育て世代就労19名、高齢者就労145名、新卒就労関係6名)の新規就労者と9名の創業者を輩出しました。各種セミナーを実施することによって、創業、事業承継等の相談件数で174件の相談を受け、新規創業希望者等のニーズにこたえとともに起業家予備軍として起業・創業後に必要となる新たな知識やスキルの取得などレベルアップに寄与しました。子育て世代の就労においては、在宅ワーク等の新たな働き方の提唱及びそのスキルアップ支援を通じ、採用希望企業とのマッチングによる就労機会の増加や、業務請負の実現を図りました。コロナ禍により、新しい働き方が確立される中、本市への新しい人の流れの創出及び多様な働き方の推進、雇用創出を目的に、テレワーク・サテライトオフィス施設の整備・運営する事業者に対し、補助金の交付等を行いました。また、テレワーク施設を含めた市全体のプロモーションとして、SNS、不動産情報サイトでの広告掲載をはじめ、大阪難波駅での電子掲示板による市PR画像の放映を行いました。産業基盤と雇用の拡大を図る企業誘致促進施策である、名張市先端産業立地促進条例に基づいた制度の周知活動や、新たに制度対象となる企業の掘り起こしに努めました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



| 施策指標(目標)の内容(単位)                       |    | 基準値(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) | 2022(R4) | 進捗率    |
|---------------------------------------|----|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合(%) | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 35.0     |        |
|                                       | 成果 | 29.9     | 31.6      | 32.9     | 33.8     | 35.7     |          | 100.0% |
| 創業相談件数【延べ数】(件)                        | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 400      |        |
|                                       | 成果 | 140      | 241       | 295      | 465      | 621      |          | 100.0% |
| シルバー人材センター就業実人員【延べ数】(人)               | 目標 | -        | -         | -        | -        | -        | 4,250    |        |
|                                       | 成果 | 841      | 1,713     | 2,614    | 3,244    | 3,946    |          | 91.1%  |

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会情勢の先行きが不透明な中、一部の事業所を除き多くの事業所の求人が抑えられている状況です。社会の状況変化に即時対応できる雇用体制の組立が雇用主には求められています。事業承継の課題については、第二創業も視野に入れ、事業所の経営革新を行っていただけるよう支援を行っていかねばなりません。また、創業相談件数については、2021(R3)156件、延べ数621件でありました。市内3か所にテレワーク、サテライトオフィス施設整備が完了したことに伴い、今後はその活用に向け、周知を含めた方策を検討する必要があります。高齢者雇用施策の根幹であるシルバー人材センターの登録会員数は前年比で97人の減となり、受注額も減少しておりますが、一方、経常費用では支払配分金や給与費などの減少により、令和3年度の正味財産期末残高が28,836,115円(前年度比+3,496,312円)となりました。また、施策指標の就業実人員は2021(R3)3,946人、進捗率91.1%であり、最終年度2022(R4)の目標を達成する見込みです。企業の進出については、その機会を的確に捉え、情報収集と企業が市内雇用を生みだしていけるよう支援が必要です。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



アフターコロナを見据えた新規事業の立ち上げ、業態転換やDXの導入の実現に向けた支援等を通じ、事業所がより長く継続できるよう支援に努めます。就労を希望する方が様々な職業選択ができるよう、市内事業所の人材活用ニーズの掘り起こしを行うとともに、関係団体等と連携し子育て世代やシニア・ミドル層の就労支援、起業・創業支援等を推進していきます。テレワーク、サテライトオフィスの活用に向けては、運用事業者をはじめ移住・定住部署とも連携を図り、都市部への情報発信に努め、広く周知を行い、企業誘致の促進を図っていきます。市内進出を決めていただいた企業に対しては、より多くの市内雇用を生み出していただけるよう、通勤や雇用確保の容易さといった本市の特性を踏まえた有益な情報提供などの寄り添い支援を行います。新たな進出希望に対しては、市有の工場用地がないことから、その進出機会を逃すことなく、空き用地、空き施設等への誘致活動を進めます。

## 施策を構成する主な事務事業

\*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

\*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

\*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

| 会計 | 事務事業名                   | 部局名 | 室名    | 令和3年度内容  | R3決算額<br>(見込) | うち<br>一般財源 | R4予算額   |
|----|-------------------------|-----|-------|--|---------------|------------|---------|
| 一般 | 障害者アグリ雇用推進事業            | 産業部 | 農林資源室 | 農業分野における障害者就労を推進するため、名張市障害者アグリ雇用推進協議会において農業ジョブトレーナーの養成や農業就労体験、研修会等の必要な取組を行いました。  | 4,877         | 4,877      | 831     |
| 一般 | シルバー人材センター運営助成事業（補助金含む） | 産業部 | 商工経済室 | シルバー人材センターの運営費及び事業費に対して補助金を交付しました。<br>・ 県シルバー人材センター連合会負担金<br>・ 市シルバー人材センター運営等補助金<br>・ 市シルバー人材センター運用資金貸付金   | 23,600        | 23,600     | 23,600  |
| 一般 | 起業・事業所支援事業              | 産業部 | 商工経済室 | 新規創業者が老舗の事業を承継できるような仕組みづくりに取り組み、市外者からの移住を含めた新規創業者、事業承継者の獲得を行いました。また、既存商品のブラッシュアップやパッケージの現代化等で商品の価値を高めることで販路を開拓し、売上げ増を目指しました。<br>その他、子育て中の女性などの新しい働き方も視野に入れ、ワークライフバランスの観点も取り入れた雇用創出を行いました。<br>・ 名張承継塾<br>・ M&Aの基礎知識セミナー<br>・ 事業承継等各種個別相談<br>・ 創業支援セミナー<br>・ 創業者個別支援<br>・ なばり後継者人材バンク事業<br>・ 改正食品衛生法セミナー<br>・ 高齢者就労支援事業<br>・ 子育て世代就職相談会<br>・ 子育て中の方向け各種ワークセミナー<br>・ 名張市・伊賀市WEB版合同就職セミナー等 | 23,637        | 11,818     | 0       |
| 一般 | 勤労者福祉対策事業               | 産業部 | 商工経済室 | 市内勤労者を対象に優遇金利で融資する金融機関に対して資金を預託することで、優遇金利の融資枠の拡大を図りました。<br>・ 住宅資金預託金 16,000千円<br>・ 生活資金預託金 4,000千円   | 20,000        | 20,000     | 20,000  |
| 一般 | 雇用労働人材確保事業              | 産業部 | 商工経済室 | （仮称）名張市事業承継人材マッチング支援協議会（フミダス）を設立し、事業所の掘り起こしや、承継人材の発掘、承継マッチング事業を展開し、事業所がより長く事業を継続できる仕組みづくりに努めます。また、当協議会により、経営基盤の強化を行い事業継続への意識を高めるため、事業転換セミナー、DXセミナーを開催し、経営力向上、事業継続を促します。  | 0             | 0          | 22,715  |
| 一般 | 令和4年度プレミアム付商品券発行事業      | 産業部 | 商工経済室 | 新型コロナウイルス感染症拡大による売上減少等の影響を受ける市内飲食店、観光業を支援するとともに、さらなる市内の消費を喚起するため、全業種を対象とした第4弾プレミアム付商品券「名張のお店応援商品券」を名張商工会議所が発行するにあたり、商品券のプレミアム相当分等を補助します。<br>・ 発行予定冊数：60,000冊<br>・ 予定発行総額：300,000,000円  | 0             | 0          | 132,000 |

## 施策を構成する主な事務事業

\*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

\*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

\*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

| 会計 | 事務事業名      | 部局名 | 室名    | 令和3年度内容  | R3決算額<br>(見込) | うち<br>一般財源 | R4予算額 |
|----|------------|-----|-------|--|---------------|------------|-------|
| 一般 | 経済活動再開支援事業 | 産業部 | 観光交流室 | 市内の「みえ安心おもてなし認証施設」を利用し、当該利用額に対し補助金を交付することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と市内経済活動再開支援の両立を図ります。 | 0             | 0          | 7,884 |